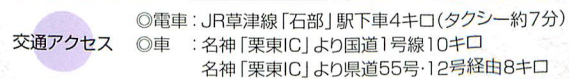


天台宗



〒520-3121 滋賀県湖南市西寺6丁目5-1
Tel 0748-77-3089 Fax 0748-77-2550
<http://www.eonet.ne.jp/~jo-rakuji/>

滋賀県の南東部に位置し、南に阿星山系、北に岩根山系、中央には琵琶湖に注ぐ最大の河川である野洲川が流れる湖南市は、石部町と甲西町が合併し平成十六年十月一日に誕生しました。この湖南市に奈良時代に建立された天台寺院で国宝に指定された建築物が三カ寺（常楽寺、長寿寺、善水寺）あることから翌年に「湖南三山」と称することとしました。

縁起

阿星山あせいざんの北麓きたろくにある当寺は、和銅年間（七〇八〜七一五）元明天皇の勅命により、良弁りょうべんが開基した阿星寺あせいじ五千坊の中心寺院として、また紫香樂宮（七四二〜七四五）の鬼門鎮護として栄えた。平安〜鎌倉時代には、皇室の帰依を受けて寺運は隆盛。延暦年間（七八二〜八〇五）天台宗に改められたという。延文五年（一三六〇）火災で全焼したが、同年、観慶かんけいらによって再興された。桁行七間、梁間六間、向拝三間、入母屋造、桧皮葺の本堂は、明治三十一年国宝（旧法）に指定。明治三十五〜六年改修工事が行われ、昭和十六年には大規模修理の解体工事が行われる。新法（文化財保護法）により昭和二十八年国宝に再指定されました。

國常樂寺



風神・雷神 二十八部衆（重文）

木造「ヒノキの寄木造り」
七六・六cm×一〇〇・五cm

本尊・千手観音（重文）の親族眷属。延文五年（一三六〇）火災にあい諸堂は全焼し、本尊も焼失しましたが、風神、雷神、二十八部衆は多くの僧侶により持ち出され、難を逃れました。しかし、昭和五十六年、無住職時代に風神、阿修羅王、摩睺羅迦王の三体が盗難に遭います。その後、昭和六十年に阿修羅王は見つかり戻ってきました。

昭和五十六年頃からは一般公開しておりませんが、平成十七年十一月に湖南三山を立ち上げてから内陣、下陣を公開しております。



三重塔（国宝）

旧法・明治三十一年十二月二十八日指定
新法・昭和二十八年 三月三十一日指定
応永七年（一四〇〇）室町時代 再建
三間四方（五m）瓦葺 高さ三・二八m
釈迦如来坐像 木造を安置来迎壁に釈迦說法図が描かれている。

塔は本来仏舎利を安置する建物ですが、天台宗では法舍利（釈迦の根本教典の法華経を仏舎利の替わり）を安置して法華経の功德による国家安穩、護国豊穰を願った。



釈迦如来（重文）平安時代

木造「ヒノキの寄木造り」一三九・二cm
施無畏印・与願印を結び結跏趺坐をしている。



雷 らい 神 じん	乾闥婆王 けんたつばおう	畢婆迦羅王 ひばからおう	金色孔雀王 こんじきくおう	梵天 ぼんてん	帝釈天 たいしやくてん	大弁功徳天 だいべんくどくてん	満善車王 まんぜんしゃおう	迦楼羅王 かろうらおう	風神 ふうじん
（摩睺羅迦王） 緊那羅王 きんならおう	満仙王 まんせんおう	沙迦羅龍王 さかろりゅうおう	毘沙門天 びしゃもんてん	毘留子 びりうし	毘楼勒叉天王 びろうりやくてん	阿修羅王 あしゅらおう	摩醯首羅王 まけしゅらおう	金大母王 きんだいぼおう	神母王 じんぼおう
那羅延堅固王 ならえんけんこおう	五部淨 ごぶじよう	散指大將 さんさしだいしやう	東方天 とうほうてん	毘楼博叉天王 びろうはくしやてん	毘楼博叉天王 びろうはくしやてん	金比羅王 こんひらおう	摩和羅王 まわらおう	竜神 りゆうじん	密迹金剛力士 みせきこんごうりきし